

2008.12.11

新しいコミュニティのあり方に関する研究会

静岡県磐田市総務部長 山下新一

磐田市の地域コミュニティ活動事業（主なもの）

1) 地域防犯活動事業

地域の子どもの見守りなど防犯パトロールや詐欺被害に遭わないための啓発活動、防犯灯設置事業等を実施している。

地区安全安心ネットワーク会議等防犯組織の設置・・・16地区で設置

（未設置地区では単位自治会で実施している）

【市の支援策】 活動事業費補助金 250 千円/1地区（2年間）

防犯等設置費補助金 30 千円/1灯 防犯グッズの提供 等

2) 地域福祉推進事業

高齢者リフレッシュ活動、あいさつ声かけ運動、脳健康教室、子育て支援、その他交流事業など地域それぞれの実情に合わせた福祉活動を展開している。

地区社協設置・・・8地区で設置 残り8地区は推進地区会議として活動している

【市の支援策】 地区社協活動助成 200～300 千円/地区（市社協を通じて）

3) まち美化パートナー推進事業

道路、河川、公園等の公共施設の美化・保全等、市民がボランティアで実施。公共施設や地域への愛着を育み、市民と行政とのパートナーシップによる協働のまちづくりを推進している。

活動（登録）団体 道路河川清掃美化等 75 団体 公園花管理等 14 団体

その他環境衛生 1 団体 計 90 団体

（内訳：自治会 23 市民団体 31 法人企業 22

その他学校等 14）

【市の支援策】 活動に必要な道具等の提供、傷害保険加入等

4) 市民団体活動推進事業

市内で活動しているNPO法人等の市民活動団体で組織する磐田NPO活動推進協議会において、磐田NPO交流センターを拠点に個々の団体が活動しやすくなるように市民活動ネットワークづくり、情報発信、活動相談等の活動をしている。

今後、活動団体の育成、団体コーディネートの強化や自治会との連携を図る活動を進めていく。

NPO法人数 30団体

協議会加入団体数 45団体（福祉10 環境10 青少年健全育成5 まちづくり5
その他国際交流など）

利用登録団体 64団体 情報会員 20団体

【市の支援策】 拠点施設の提供。人材育成、交流事業の委託等。

5) 自主防災

市内316の自主防災会が組織され、防災訓練や防災資機材の整備等実施している。
自治会とほぼ同じ区域で組織され、これをまとめる自主防災会連合会がある。

【市の支援策】 自主防災会交付金、防災倉庫・資機材整備補助等。

6) 公民館事業

社会教育施設として、市内16館の公民館を設置している。ここでは各種イベント
や講座・教室の開催のほか、サークル等への貸館業務が行われている。旧磐田市で
の設置目的には地域コミュニティの拠点施設としての機能も持たせているため、地
区自治会や学校等との強い連携を持って運営されている。

7) その他支援事業

地域づくり活動支援事業

市民が主体となり、自発的に地域づくりを行う市民活動団体に対して補助

200千円～500千円/件 地域の環境を考える会など19年度53件。9,000千円

コミュニティ設備費補助

自治会コミュニティ活動拠点施設整備補助、コミュニティ施設（備品等）整備
補助。 19年度63件 56,240千円

今後の取り組み・課題

- ・ 各地区活動を実施していく上で、活動拠点（公民館等）がない地区からは、設置
要望が出されている。既存の公共施設の活用も含めて検討している。
- ・ 団体ごとのコミュニティ活動はそれぞれ活発に行われてきているが、異団体間の
連携や協働が今後の課題となっている。

（自治会とNPO。 自治会と企業。 NPO等市民団体間など）

● コミュニティ活動

活動	公民館活動	自主防災活動	地域防犯活動	地域福祉推進活動	まち美化パートナー推進活動	市民団体活動推進活動
	地区公民館	自治会			企業	市民団体等 NPO法人 市民活動団体 学校 商店会・商工会 老人会 花の会 など

● 自治会の組織

自治会連合会						連合会長	1
支			部			支部長 (副会長)	5
地		区				地区長	31
単	位	自	治	会		自治会長	304

外国人との共生

1) 自治会連合会の多文化共生社会への取組み

多文化共生社会取組推進地区会議の設置

各支部組織の中で1地区をモデル地区とし、推進地区会議を開催。

情報の共有化や活動報告、問題点の対応と今後の進め方等を協議している。

〔具体的な取組み〕

ごみ集積所での挨拶声かけ・外国人居住状況調査・祭り参加の取組み

防災訓練への参加等

多文化共生自治会長情報懇談会の開催

単位自治会人口5%以上の外国人居住の自治会長を対象に懇談会を開催し、

情報交換や問題点の整理と対応について協議している。

2) 先進自治会（南御厨地区）の取組み

地区居住外国人は地区人口の19.6%（784人）。平成14年度から地区独自の多文化共生の取組みを行っている。「顔の見える関係づくり」「地元住民との交流」に取り組んでいる。

〔取組み〕

地域活動参加促進

体育祭、文化祭、夏休み親子ふれあい会、通学合宿、凧あげ大会

外国人対象地震防災訓練

地域住民との交流活動

防犯活動

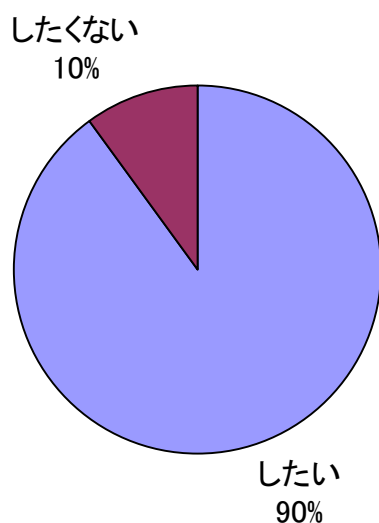
子ども見守り活動や地区内パトロール活動にポルトガル語のテープにより啓蒙活動、ポルトガル語版看板や標語作成配布

3) 外国人のコミュニティに関する意識（磐田市外国人生活実態調査報告より）

外国人市民の多くは日本人との交流を望んでいる。外国人市民が文化や言葉の壁を乗り越えて、日本人と共に生活し、社会の一翼を担う存在になるために、日本人も外国人市民の文化や生活に関心を持つべきである。また、自治会への参加推進やイベントを通じて相互の交流や理解を深める機会を提供したり、交流を推進するための機関の設置をすることで外国人市民の共生化を援助していく必要がある。

調査結果の抜粋・・・別紙参考資料

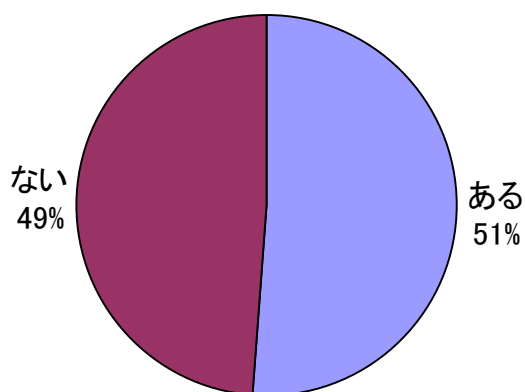
日本人と今後のつきあいをしていきたいですか



日本人とのつきあいはありますか？

あいさつをする程度	26.9
ときどき立ち話をする程度	43.8
一緒に何かしたり相談にのったりする	17.1
その他	3.1
つきあいはない	9.2

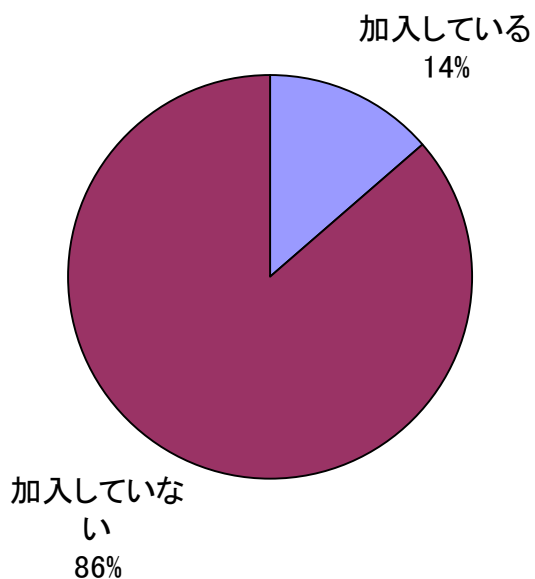
地域の行事に参加したことがありますか



何の行事に参加しましたか？（複数回答）

道路や公園の清掃	46.8
地区の祭り	62.7
公民館等の講座やイベント	7.9
スポーツ大会	14.7
防災訓練	33.3
国際交流イベント	13.5
その他	1.6

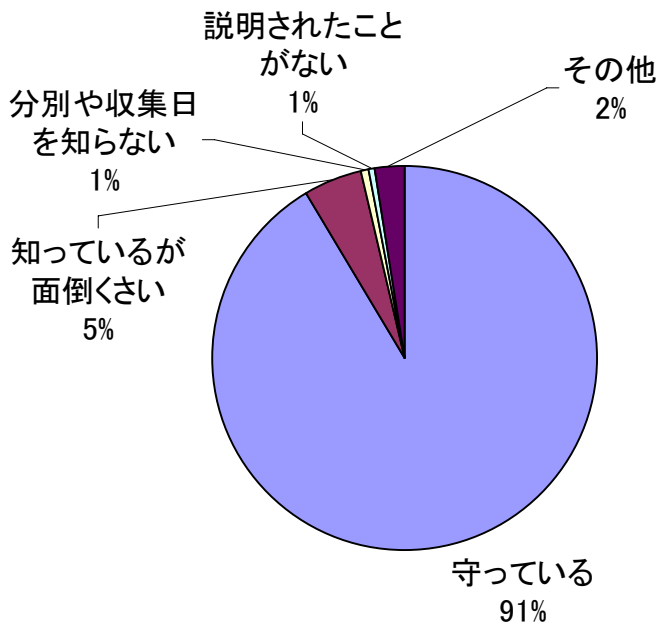
自治会への加入について



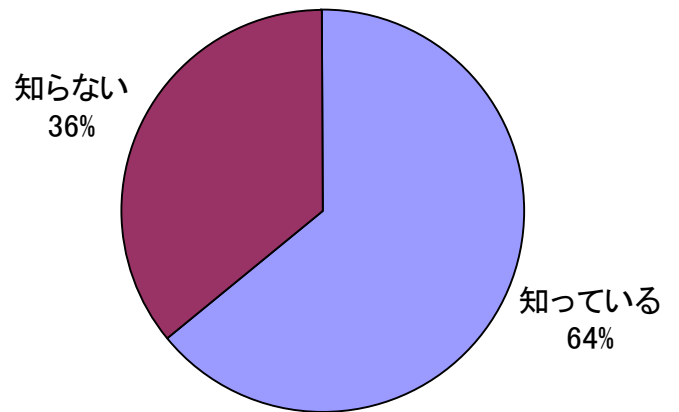
自治会に加入していない理由（複数回答）

自治会を知らない	79.9
加入の必要を感じない	6.4
言葉が分からない	18.7
会費が高い	0.3
すぐに移動していくから	3.5
加入方法が分からない	13.1
その他	0.8

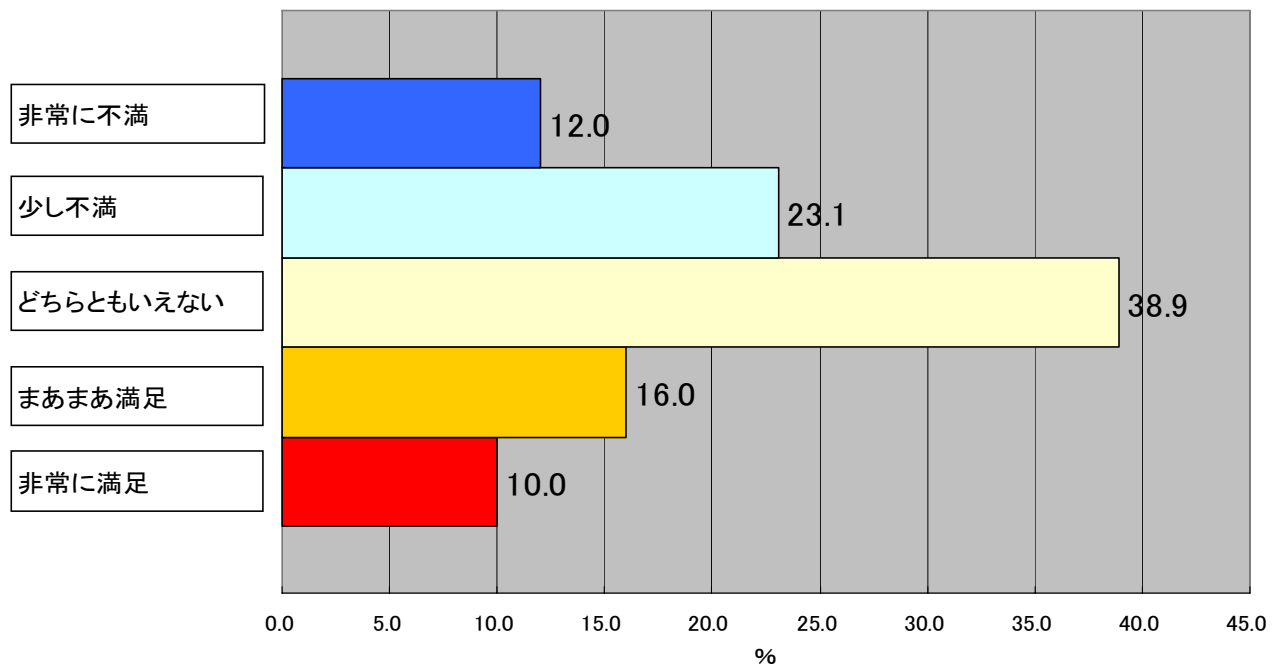
ごみの分別と収集日



災害時の避難場所を知っていますか



日本人との付き合いへの満足度(世帯主)



資料：磐田市外国人市民実態調査による